

コミュニティ・スクール絹

小山市立絹義務教育学校 地域連携部 第33号 (令和3年6月発行)

田んぼの学校が開校しました



5月20日(木)に、5年生児童27名と、認定こども園のぶしまき幼稚園児29名が参加して田植えが行われました。新型コロナウイルス感染症対策として、消毒を十分にしてから仲良く手をつないで田んぼに入りました。

田植えの向きを、キボラーの方に向けたため、ママたちはパシパシや大はしゅき。

3~4本を手にとり、フスッと泥に差します。

このふと差しの苗が育つと、お米は1800粒くらいとれるのだそう。

茶わん一杯は約3000粒。だから2株植える3一膳分に。実行委員の石川弘さんのお話はとてもわかりやすく、心に届きました。

歩くときはワーワー言っていた子どもたちですが、植える瞬間は無言。

ALTのジョー先生は田植えが大好きなのだそう。お手伝いにかけてくれました。

「少しでも効率よく進められるよう」実行委員の方々の工夫は、感心しました。今は田植えはスーツ着てやれるんだよ。(機械が)

これにもまた驚きましたか!

田主の宮田さん。子どもたちの様子を優しい笑顔で見守ってくれました。ありがとうございます。

「この3~4本、ママきませんか?」というもあります。

後日、実行委員長の上野祥夫さんが撮ってきてくださった写真は、一直線に植えられた苗と、足あとだらけの田んぼ。温かい地域で育つ、子どもたちの幸せの証のように見えました。

30cm ぎとに印

20cm ぎとに印

ふるさと学習が始まりました



令和3年度は1300豆の蚕が育ってきました。

「お迎え式」「上簇式」は、NHKの「とちぎ630」やテレビ小山の「ニュース50」で放送されています。

